時　計　用　語

Horological vocabulary

2013 年 1 月

一般社団法人日本時計協会

JAPAN CLOCK & WATCH ASSOCIATION

目　次

１．目 的

この規約は、時計業界で用いる主な用語とその定義を定める。採用した用語はカタログ及び取扱説明書など時計の流通業者及び消費者が見る資料に掲載している用語の中で定義を明確にしておいた方がよいものを選択した。

２．引用規格及び規約、関連規格

ISO764　耐磁ウオッチ
JIS B 7024　耐磁携帯時計－種類及び性能

ISO1112　機能石及び非機能石

ISO1413　耐衝撃ウオッチ

ISO 22810　防水ウオッチ
JIS B 7021　一般用防水携帯時計の種類及び防水性能

ISO6425　ダイバーズウオッチ
JIS B 7023　潜水用携帯時計－種類及び性能

ISO3159　てんぷ式腕クロノメーター

ISO6426-2　時計用語－商業技術定義

ISO10553　水晶ウオッチの精度分類の評価方法
JIS B 7025　時計－精度表示

JIS B 7001　時計－試験方法

JIS B 7010　時計部品名称
JCWA-T005　時計部品名称

JIS B 7026　時計－電池寿命の表示

３．用語と定義

備考　１．〇〇時計は〇〇ウオッチ、〇〇クロックと細区分してもよい。
　　　　例：水晶時計→水晶ウオッチ、水晶クロック

備考　２．〇〇 time keeping instrument は〇〇 watch、〇〇 clockと細区分してもよい。

備考　３．機能に関係する用語は、末尾に語“機能”を付けてもよい。
　　　　例：時差修正→時差修正機能

３．１ 一般用語

項目 番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.1.1	計時装置 time measuring instrument	測時機	時刻の指示又は時間の測定を、個々に、又は同時に行う装置。	ISO6426-2
3.1.2	時計 time keeping instrument		時刻を指示する計時装置。	ISO6426-2
3.1.3	タイムカウンター time counter	時間計	時間を測定する計時装置。時刻は指示しない。	ISO6426-2
3.1.4	ウオッチ watch	携帯時計 〔腕時計＆提時計(懐中時計)〕	どんな姿勢でも作動し、かつ携帯することを目的とした時計。	ISO6426-2 JIS B 7001
3.1.5	クロック clock		一定の姿勢で使用する時計。	ISO6426-2 JIS B 7001
3.1.6	機械時計 mechanical time keeping instrument	機械式時計 メカニカル時計 メカ時計 〔機械式〕 〔ぜんまい式〕 〔てんぷ式〕	動力源、時間基準及び指示装置が機械的構造である時計。	ISO6426-2
3.1.7	電気時計 electric time keeping instrument	〔電気式〕 〔電池式〕	電気エネルギーが動力源で、時間基準及び指示装置が機械的構造である時計。 **備考** 商用電源を動力源及び時間基準とする時計も含む。	ISO6426-2
3.1.8	電子時計 electronic time keeping instrument	〔電子式〕 〔電池式〕	電気エネルギーが動力源で、電子的に制御された時間基準をもつ時計。	ISO6426-2
3.1.9	水晶時計 quartz time keeping instrument	クオーツ時計 〔水晶式〕	水晶振動子を時間基準にもつ時計。	ISO6426-2
3.1.10	ムーブメント movement		動力源、時間基準などの装置からなる時計の機械体。 **備考** 電子式のものをモジュールと呼ぶことがある。	ISO6426-2
3.1.11	外装 casing		ムーブメントを収容し、その固定、保護、操作、表示、外観などの役割を果たす部品（ケース、文字板、針、など）の総称。	ISO6426-2
3.1.12	型 line 又は ligne		ムーブメントの大きさを表す単位。１型が２．２５６ｍｍに相当する。	ISO6426-2
3.1.13	機械落ち movement fitting	〔落径〕	ムーブメントのケース又は中枠とはめ合わされる部分。	ISO6426-2

項目 番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.1.14	キャリバー calibre		ムーブメントの同一性を表す型式。一般には番号と記号で表す。	ISO6426-2
3.1.15	シャブロン chablon		ムーブメントの構成部品の完全なセット。文字板、針類の有り無し、ばら又は一部組立のものがある。	ISO6426-2
3.1.16	振動数 frequency		①１秒当りの周期の数。ヘルツ（Hz）で示す。 **例**：水晶 32,768 Hz ②てんぷ式については、１秒又は１時間当りの半周期の数。半周期を１振動と数え、“○○振動”と表す。振動数（Hz）の２倍の値となる。 **例** 10振動／秒＝36,000振動／時＝5Hz **備考** 一般に、○○振動／秒を○○振動と略す。	ISO6426-2
3.1.17	うるう秒 leap second		標準時と地球自転時（ＵＴ1）との差を±０．９秒以内に保つために行う１秒ステップの調整。	

３．２ 時計の種類に関する用語

項目 番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.2.1	アナログクオーツ時計 analogue quartz time keeping instrument	アナログ水晶時計 〔アナログ式〕 〔ＡＱ〕 〔機械表示式〕	指示装置が機械的（文字板、針など）構造である水晶時計。	ISO6426-2
3.2.2	デジタルクオーツ時計 digital quartz time keeping instrument	デジタル水晶時計 〔デジタル式〕、 〔ＤＱ〕 〔電子表示式〕	指示装置が電子的（液晶、ＬＥＤなど）構造である水晶時計。	ISO6426-2
3.2.3	コンビネーションクオーツ時計 combination quartz time keeping instrument	コンビネーション水晶時計 〔コンビネーション式〕 〔ＣＱ〕 〔複合表示式〕	アナログクオーツ時計とデジタルクオーツ時計の表示機能を併せもつ水晶時計。	ISO6426-2
3.2.4	腕時計 wristwatch		バンドで腕に装着する時計	
3.2.5	提時計 pocket watch	懐中時計、 ポケットウオッチ	衣服につけたり、ポケットに入れたりして持ち歩くことができる携帯時計。	
3.2.6	置時計 desk clock 又は table clock	卓上時計	机、台の上などに静置して用いる時計。	
3.2.7	掛時計 wall clock		壁、柱などに固定して用いる時計。	
3.2.8	目覚時計 alarm clock		アラーム機能をもつ時計。	

項目 番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.2.9	トラベラークロック traveller's clock 又はtravel alarm clock	旅行時計	旅行などに持ち運びできるアラーム付きの小型の時計。	
3.2.10	鳩時計 cuckoo clock	かっこう時計	毎正時または３０分ごとに時刻をかっこうの鳴き声で知らせる時計。	
3.2.11	からくり時計 marionette clock（人形が動作するもの） carillon clock(鐘でメロディーを奏でるもの)		設定された時刻に、メロディーと共に文字板や人形などが動作する時計。	
3.2.12	ホールクロック hall clock		屋内に設置して用いる縦長の大型時計。	
3.2.13	電波修正時計 radio controlled watch／clock	電波時計	標準電波を受信し、自動的に時刻やカレンダー修正を行う機能をもつ時計。	
3.2.14	太陽電池時計 solar-powered watch／clock 又は solar cell time keeping instrument	光発電時計	ソーラーセルを用い、光のエネルギーを動力源とする時計。	ISO6426-2
3.2.15	世界時計 world time keeping instrument	ワールドタイムウオッチ／クロック	世界各地の標準時を表示できる時計。	ISO6426-2 global time（ISO)
3.2.16	多針時計 multi-hands time keeping instrument	多軸時計 〔複雑時計〕 マルチハンズ	時針・分針・秒針以外の各種の機能表示針をもつ時計。 ただし、小秒針は含まない。 **備考**　機械式の多針時計を複雑時計ということがある。	
3.2.17	多機能時計 multi-function time keeping instrument	〔複雑時計〕 マルチファンクション	時刻以外のタイムカウンター、アラームなどの機能をもつ時計。 **備考**　機械式の多機能時計を複雑時計ということがある。	ISO6426-2
3.2.18	小秒針時計 time keeping instrument with small seconds hand	スモールセコンド時計、 サブセコンド時計、 副秒針時計	秒針が時分針軸から離れた別の軸になっている時計。	ISO6426-2
3.2.19	音声時計 talking watch／clock		音声で時刻などを知らせる時計。	
3.2.20	盲人時計 braille watch／clock	視覚障がい者用時計・点字時計	音声又は指の触覚だけで時刻が分かるようにした時計。	
3.2.21	耐ニッケルアレルギーウオッチ anti-nickel allergy watch　又は nickel allergy resistant watch		携帯時に肌に触れる部分がニッケルアレルギーを生じさせないよう配慮した素材及び表面処理で構成したウオッチ。	JCWA-T003

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.2.22	耐メタルアレルギーウオッチ anti-metal allergy watch　又は metal allergy resistant watch	耐金属アレルギーウオッチ	携帯時に肌に触れる部分が全ての金属アレルギーを生じさせないよう配慮した素材及び表面処理で構成したウオッチ。	JCWA-T003
3.2.23	トゥールビヨンウオッチ tourbillon watch		脱進機構の全パーツとその中央に調速機（てんぷ）を収めた可動ケージをもつウオッチ。がんぎかなは、固定された四番車の周りを回転する。ケージは通常、１分間で１回転し、回転しながら垂直姿勢差が最小になるように調節する。	ISO6426-2
3.2.24	カルーセルウオッチ carrousel watch		トゥールビヨンウオッチと同様の装置をもち、ケージが四番車ではなく、三番車の周りを回転するウオッチ。	ISO6426-2
3.2.25	クロノメーター chronometer		CICC（国際クロノメーター管理委員会）の管理下にある公的機関によって検定を受け、合格した高精度機械時計に与えられる称号。検定の方法及び合格水準は【ISO３１５９・時計―てんぷ式腕クロノメーター】~~に~~で規定している。	ISO6426-2 ISO3159
3.2.26	クロノグラフ chronograph		時刻の指示の他に時間の測定もできる時計。	ISO6426-2
3.2.27	ストップウオッチ stop watch		携帯用のタイムカウンター。 **備考**　デジタル式で時刻表示機能を備えたものもある。	ISO6426-2
3.2.28	タイマー timer		予め設定された時間の逆算ができるタイムカウンター。	ISO6426-2
3.2.29	スケルトン時計 skeleton watch／clock	スケルトン	外装を通して、骨格形状をしたムーブメントが見える時計。	ISO6426-2
3.2.30	衛星電波修正時計 Satellite radio-controlled watch／Clock	衛星電波時計 Satellite synchronized (satellite-sync) watch／Clock	GPS衛星からの電波を受信して、自動的に時刻やカレンダーの修正を行う機能をもつ時計。	

３．３ 性能に関する用語

3.3.1 精度

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.3.1.1	指示差 state		時計が表示している時刻と、基準とする時計の時刻との差。	ISO6426-2 JIS B 7001
3.3.1.2	歩度 rate		時計の精度を短時間に測定し、日差に換算した値。	ISO6426-2 JIS B 7001
3.3.1.3	日差 daily rate		２４時間の間隔をおいた２つの指示差の差。	ISO6426-2 JIS B 7001
3.3.1.4	月差 monthly rate	〔平均月差〕	１ヶ月の時間間隔をおいた２つの指示差の差。	ISO6426-2 JIS B 7001 JIS B 7025

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.3.1.5	年差 annual rate		１年の時間間隔をおいた２つの指示差の差。	ISO6426-2 JIS B 7001 JIS B 7025
3.3.1.6	ドリフト drift		歩度又は、日差の経時的な変化率。ある日測定した歩度又は日差と、ある期間隔てて同一の条件で測定した歩度又は日差の単位時間当りの差で表す。	ISO6426-2 JIS B 7001
3.3.1.7	緩急 regulation		時計の精度を調整すること。	ISO6426-2
3.3.1.8	論理緩急 theoretical regulation	Logical regulation	水晶振動子の周波数を調整せず、分周回路の一部でパルスを加減して調整する緩急方法。	
3.3.1.9	温度補正 thermal compensation		時計及び付加機能の精度に及ぼす温度変化の影響を補正すること。	ISO6426-2
3.3.1.10	作動温度範囲 operational temperature range	動作温度範囲	（水晶）時計が作動する温度範囲。	
3.3.1.11	使用温度範囲 usage temperature range		安定した性能が維持される温度範囲。	
3.3.1.12	携帯精度 normal usage accuracy		気温５℃～３５℃の環境で１日最低８時間以上ウオッチを腕に着けている時の精度。通常ウオッチはこの状態で最も精度が安定するように調整されている。	

3.3.2　防水性能

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.3.2.1	防水性 water resistance	〔防水時計〕	外部から時計のケース内へ、水・汗などが侵入することを防ぐ性能で日常生活用防水以上の防水性をいう。	ISO6426-2 JIS B 7001
3.3.2.2	非防水 non-water resistant	〔非防水時計〕	防水性をもたない性能。	ISO6426-2
3.3.2.3	日常生活用防水 water resistant for daily use	〔日常生活用防水時計〕	日常生活での汗や洗顔のときの水滴・雨などに耐える性能。 検査方法と要求事項は【JIS B 7021一般用防水携帯時計及び、ISO 22810一般用防水時計】で規定している。	JIS B 7021
3.3.2.4	日常生活用強化防水 enhanced water resistant for daily use	〔日常生活用強化防水時計〕	水泳など水中での使用が可能な性能。 検査方法と要求事項は【JIS B 7021一般用防水携帯時計及び、ISO 22810一般用防水時計】で規定している。	JIS B 7021
3.3.2.5	空気潜水用防水 water resistant for air diving	スキューバ潜水用防水 〔空気潜水時計〕	圧縮空気を呼吸気体として用いる浅海潜水で最低１００ｍの潜水に耐える 性能。検査方法と要求事項は【JIS B 7023潜水用携帯時計及び、ISO6425ダイバーズウオッチ】で規定している。	ISO6425 JIS B 7023

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.3.2.6	飽和潜水用防水 water resistant for mixed-gas diving	混合ガス潜水用防水 〔飽和潜水時計〕	ヘリウムなどの不活性ガスと酸素から成る高圧混合ガスを呼吸気体として用いる深海潜水で最低２００ｍの潜水に耐える性能。 検査方法と要求事項は【JIS B 7023潜水用携帯時計及び、ISO6425ダイバーズウオッチ追加規定A】で規定している。	ISO6425 JIS B 7023
3.3.2.7	潜水用防水 water resistant for diving	〔潜水時計〕 〔ダイバーズウオッチ〕	空気潜水用防水と飽和潜水用防水の総称。	ISO6426-2

3.3.3　耐磁性能

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.3.3.1	耐磁性 magnetic resistance 又は antimagnetism	〔耐磁時計〕 〔強化耐磁時計〕	時計が外部磁場に耐えられる性能。１種耐磁時計は直流磁界４８００A/mに耐える性能、２種耐磁時計は直流磁界１６０００A/mに耐える性能。 検査方法と要求事項は【JIS B 7024耐磁携帯時計】で規定している。	ISO6426-2 ISO764 JIS B 7001 JIS B 7024
3.3.3.2	磁気シールド magnetic shield		外部磁場からムーブメント(特にモーター)を保護する性能。	

3.3.4 耐衝撃性能

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.3.4.1	耐衝撃性 shock resistance	〔耐衝撃時計〕	衝撃に耐える性能。耐衝撃ウオッチは水平な硬い木の面に１ｍの高さからの落下に耐える性能をもつ。 試験方法は【JIS B 7001時計一試験方法】又、検査方法と要求事項は【ISO1413耐衝撃時計】で規定している。	ISO6426-2 ISO1413 JIS B 7001

3.3.5 その他

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.3.5.1	電池寿命 practical battery life		所定の電池を時計に組み込み駆動を開始してから、標準的な使用状態において時計が停止又は電気的表示が判読不可能となるまでの期間。	ISO6426-2 ISO12819 JIS B 7026
3.3.5.2	持続時間 autonomy		時計を始動してから運転が停止するまでの時間。	ISO6426-2 JIS B 7001

３．４．機能に関する用語

3.4.1　時刻・電波修正

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.4.1.1	秒帰零 seconds zero reset		秒の指示が零（ゼロ）位置に急速に戻る機能。秒帰零は、時報に秒の指示を合わせることを可能にする。	ISO6426-2

項目 番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.4.1.2	復針 hands reset to original position		設定された位置に時分針などが急速に戻る機能。	ISO6426-2
3.4.1.3	時刻早修正 quick correction of time		時分秒の指示の進み遅れを急速に正又は逆回転により修正する機能。	ISO6426-2
3.4.1.4	時差修正 quick correction function of time difference		時計の動きを止めずに、時間単位で時刻修正が可能な機能。	
3.4.1.5	秒針規正 seconds hand stop	秒針停止	りゅうず、ボタンなどの操作によって秒針を一時的に停止する機能。	ISO6426-2
3.4.1.6	デュアルタイム dual time		二つの異なった時刻を表示する機能。	ISO6426-2
3.4.1.7	強制受信 manual reception	手動受信 強制時刻修正	既定の時刻以外でボタン等の操作によって時刻情報電波を受信して時刻を合わせること。	
3.4.1.8	定時自動受信 regular automatic reception	定時受信 自動受信 復活自動受信	既定の時刻に自動的に時刻情報電波を受信して時刻を合わせること。	
3.4.1.9	自動選局機能 automatic tuning function	自動選択機能 [auto tuning]	仕様の異なる標準電波を自動的に選択し、受信する機能。	
3.4.1.10	受信状態表示機能 reception level display function		時刻情報電波の受信状態を表示する機能。	
3.4.1.11	受信結果表示機能 reception result confirmation function	受信確認表示機能	時刻情報電波を受信し、時刻を合わせられたかどうかの結果を表示する機能。	
3.4.1.12	受信ＯＮ/ＯＦＦ機能 reception ON/OFF function	機内モード	時刻情報電波の受信のＯＮ／ＯＦＦを選択する機能。	
3.4.1.13	標準電波 standard-time and frequency-signal emission	standard-time electric wave、又は standard radio wave	国家標準または国際標準として政府や公的機関が発信・運用している時刻情報電波。	
3.4.1.14	衛星電波	GPS衛星電波 GPS電波	GPS(Global Positioning　System)衛星から発信されている電波。	
3.4.1.15	福島長波局 Fukushima low frequency office	福島局（東局） Fukushima signal	独立行政法人　情報通信研究機構の「おおたかどや山標準電波送信所」（４０kHz）	
3.4.1.16	九州長波局 Kyushu low frequency office	九州局（西局） Kyushu signal	独立行政法人　情報通信研究機構の「はがね山標準電波送信所」（６０ｋHz）	

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.4.1.17	サマータイムON/OFF選択機能 daylight saving time ON/OFF selection function	サマータイムON/OFF機能 DST ON/OFF	夏時間のON/OFFを選択する機能	
3.4.1.18	マルチバンド multiband	マルチバンド受信 マルチ受信 多局受信	複数の標準電波を受信する機能	
3.4.1.19	針位置自動補正機能	針自動補正機能 針位置自動修正機能	一定時間ごとに針位置をチェックし衝撃や磁気など外部からの影響で針がずれた場合に自動的に補正して正しい時刻を保持する機能。	

3.4.2　時間計測

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.4.2.1	タイムプリセレクティング装置 time preselecting device		回転ベゼル・数値表示装置などによって時間測定ができる装置。	ISO6426-2 JIS B 7023
3.4.2.2	音声タイマー sound timer		スタートから設定時間ごとに経過時間などを音声で知らせる機能。	ISO6426-2
3.4.2.3	オートクロノグラフ auto chronogragh（auto chrono）	オートクロノ	タイマーとストップウオッチの両機能をもち、タイマーが終了すると自動的に時間経過測定が作動する機能。	
3.4.2.4	スプリットタイム split time counter		同一の起点からの経過時間を順次測定し、時間測定を継続しながら表示できる機能。	ISO6426-2
3.4.2.5	ラップタイム lap time counter		前の経過時間の測定が終わる瞬間を起点として、次の経過時間の測定ができる機能。	ISO6426-2
3.4.2.6	タキメーター tachymeter		一定区間を走行した時間を測定し、その時間からおおよその平均時速を換算表示する機能。	
3.4.2.7	潜水ログデータ log data		潜水開始時刻、浮上時刻、最大深度、潜水時間、潜水回数、平均水深、日付などダイビングの記録。	

3.4.3　カレンダー

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.4.3.1	カレンダー calendar	〔カレンダー付〕 〔カレンダー時計〕	日付、曜日、月、年などを表示する機能。	ISO6426-2
3.4.3.2	オートカレンダー auto calendar		うるう年の２月２９日を除き、毎月末の日付修正を必要としない機能。	ISO6426-2

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.4.3.3	フルオートカレンダー full auto calendar	パーペチュアルカレンダー パーペチャルカレンダー 万年カレンダー	うるう年の２月２９日を含み、毎月末の日付修正を必要としない機能。	ISO6426-2
3.4.3.4	ムーンフェイズ moon phase	月齢	月の満ち欠けを表示する機能。	ISO6426-2
3.4.3.5	カレンダー早修正 quick calendar correction		日付、曜日、月などを迅速に修正できる機能。	ISO6426-2
3.4.3.6	リバースカレンダー reverse calendar	レトログラードカレンダー	日付を扇形状に表示し、月末に又は操作により日針が急速に目盛の最初に戻る機能。	ISO6426-2

3.4.4 アラーム

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.4.4.1	デイリーアラーム daily alarm		セット時刻が解除されない限り、毎日設定時刻に鳴るアラーム機能。	ISO6426-2
3.4.4.2	ワンショットアラーム one-shot alarm	ワンタッチアラーム クイックアラーム	セットしたアラームが一度鳴るとそのアラームの設定が解除されるアラーム機能。	ISO6426-2
3.4.4.3	スヌーズ snooze		アラームを停止しても短時間後に、再びアラームが鳴る機能。	ISO6426-2
3.4.4.4	マルチアラーム multi alarm		複数のアラーム時刻の設定ができる機能。	
3.4.4.5	電子音アラーム chirping alarm		電子回路で作り出される音で鳴るアラーム。	
3.4.4.6	ベル音アラーム bell alarm		金属のベルを連続して叩いたような音で鳴るアラーム。	
3.4.4.7	合成音アラーム synthesized sound alarm		電子回路で作り出された声や擬音で鳴るアラーム。	

3.4.5　報時

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.4.5.1	報時 acoustic information		時計の正時、正時及び３０分、正時・１５分・３０分・４５分、又は１分単位に、音で時刻を知らせる機能。	ISO6426-2 JIS B 7001
3.4.5.2	報時鳴止め striking shut off		特定の時間、自動又は任意に時報の鳴りを止めることができる機能。	
3.4.5.3	リピーター repeater		操作によって現在時刻（時間、３０分、１５分、又は１分単位で）を音で知らせる機能。	ISO6426-2

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.4.5.4	グランドストライク grand strike		正時および１５分ごとに自動的に現在時刻を音で知らせ、かつリピーターのように操作によって現在時刻を音で知らせる機能。	ISO6426-2

3.4.6　その他

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.4.6.1	自動巻 automatic	〔自動巻時計〕	腕の動きによってぜんまいを自動的に巻き上げる機能。	ISO6426-2
3.4.6.2	耐振軸受 shock-absorber	耐衝撃軸受	衝撃から軸を保護する機能をもつ軸受。	ISO6426-2
3.4.6.3	システムリセット system reset	イニシャルセット 〔ＡＣ〕 オールリセット	CPUなどのICを組み込んだ時計で､電池交換時やトラブル発生時に時計の各種機能を初期状態に戻す機能。	ISO6426-2
3.4.6.4	モード mode		多機能時計で、時刻・時間測定・アラームなどのそれぞれの機能を表示・操作できる状態を示す用語。	ISO6426-2
3.4.6.5	オートリターン auto return		基本モード以外のモードにあったとき、一定時間外部操作が行われない場合、自動的に基本モードに復帰する機能。	ISO6426-2
3.4.6.6	パワーリザーブインジケーター power reserve indicator	充電量表示 バッテリーインジケーター バッテリー残量インジケーター	充電装置をもつクオーツ式時計において充電量の目安を表示する機能。	ISO6426-2
			機械式時計のぜんまいの巻き上げ残量を表示する機能	
3.4.6.7	電池寿命切れ予告表示 battery life indicator	〔ＢＬＤ〕	電池容量が少なくなって電池交換の時期が来たことを知らせる機能。	ISO6426-2 indication of end of battery life
3.4.6.8	メロディー運針 rhythmical motion		一定時刻に又は操作によりメロディーが鳴り、それに合わせて針がリズミカルに運針する機能。	
3.4.6.9	スイープ運針 sweep motion second　又は sweeping motion second	スイープセコンド 連続運針 連続秒針	連続して流れるような秒針の動き。	
3.4.6.10	ステップ運針 step motion second　又は stepping motion second	ステップセコンド、 ステップ秒針	１秒ごとの区切りがある秒針の動き。	

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.4.6.11	サウンドモニター sound monitor	サウンドデモンストレーション アラームモニター	操作により随時アラーム音などを鳴らすことのできる機能。	
3.4.6.12	ペースメーカー pace maker		設定した任意の時間間隔で音を出す機能。	
3.4.6.13	操作確認音 beep sound		ボタン操作などの操作が確実に行われたことを音で知らせる機能。	
3.4.6.14	自動巻発電 automatic power generating system	〔自動巻発電時計〕	時計が動かされるたびに自動的に発電及び充電を行う機能。	
3.4.6.15	過充電防止 overcharge prevention function		二次電池などへの充電し過ぎを防止する機能。	
3.4.6.16	充電切れ予告機能 energy depletion forewarning function	エネルギー切れ予告機能、 バッテリー充電警告機能、 充電警告機能	充電装置をもつ時計において、充電量が低下して、間もなく時計が止まり充電量が不足していることを予告する機能。	
3.4.6.17	パワーセーブ機能 power save function 又は energy save function	パワーセービング機能、 節電機能	一定時間経過すると、時刻表示等一部の動作を自動的に停止し節電状態になる機能。節電状態が解除されると現在の時刻等を表示し元の動作に復帰する。	
3.4.6.18	ライト light	照明	ELやLEDなどの発光素子により文字板や液晶パネル等の表示を照明する機能	
3.4.6.19	充電時間 charging time		充電装置を持つ時計において充電に必要な時間の目安	

３．５ 要素・部品に関する用語

3.5.1 ムーブメント

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.5.1.1	ステップモーター stepping motor		電気パルスにより間欠的に回転するモーター。	ISO6426-2
3.5.1.2	巻真 winding stem		時計のぜんまいの巻き上げ､針の位置修正､カレンダーの修正などを行う操作軸。	ISO6426-2 JIS B 7010
3.5.1.3	巻真 setting stem		時計の針の位置修正、カレンダーの修正などを行う操作軸。	ISO6426-2 JIS B 7010
3.5.1.4	機能石 jewel	〔非機能石〕	摩擦を安定させ、接触面の摩耗を減らすために軸受その他に用いる石。 【ISO 1112 ・機能石及び非機能石】で規定している。	ISO6426-2 ISO1112
3.5.1.5	トリマー trimmer	トリマーコンデンサー	水晶振動子を含む発振回路の周波数調整を行う可変容量コンデンサー。	ISO6426-2
3.5.1.6	モニター用電池 monitor battery		工場出荷時点で組み込まれている電池。電池寿命は保証対象外。	
3.5.1.7	太陽電池 solar cell	ソーラーセル	光エネルギーを電気エネルギーに変換する素子。	ISO6426-2 JIS B 7010

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.5.1.8	二次電池 secondary battery 又は rechargeable battery		繰り返し充放電が可能な化学反応を利用した電源用部品。	ISO6426-2 accumulator (ISOの用語) JIS B 7010
3.5.1.9	キャパシター capacitor	コンデンサー	繰り返し充放電が可能な物理現象を利用した電源用部品。	JIS B 7010

3.5.2　外装

1)ケース部

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.5.2.1	ケース case		表示部・バンド部を除く、胴・ガラス・裏ぶた・などの外装部品一式。	ISO6426-2 JIS B 7010
3.5.2.2	ワンピースケース one-piece case		胴と裏ぶたが一体化した構造のケース。	ISO6426-2
3.5.2.3	シースルーバック see-through case back　又は see-thru case back	シースルー	ムーブメントが見えるように裏ぶた部に透明部品がはめ込まれているケース。	
3.5.2.4	回転ベゼル rotating bezel		主として目盛を記載している縁で，回転によって，時間，方位などを知らせることのできる部品。	ISO6426-2 JIS B 7010
3.5.2.5	りゅうず crown		時刻，カレンダーセットなどを回転などによって行う外部操作部材。	ISO6426-2 JIS B 7010
3.5.2.6	ねじロックりゅうず screw down crown	ねじロック式りゅうず	防水性を高めるため、ねじによりケースに固定されるりゅうず。	ISO6426-2
3.5.2.7	ボタン push button	プッシュボタン	時刻，カレンダーなどのセットをプッシュなどによって行う外部操作部材。	ISO6426-2 JIS B 7010
3.5.2.8	ねじロックボタン screw down push button	ねじロックプッシュボタン	防水性を高めるため、ねじによりケースに固定されるボタン。	ISO6426-2
3.5.2.9	リング ring	ダイヤルリング 見返しリング	保持・固定の機能を持たないリング状の部品。リングの前に使用箇所を表す語を付けて個別部品名称として用いる。	
3.5.2.10	耐磁板 magnetic shield plate		外部磁界を吸収し，ムーブメント内への磁界の流入を減少させる板状の部品。	ISO6426-2 JIS B 7010
3.5.2.11	エスケープバルブ escape valve		飽和潜水の時に時計内に入り込んだヘリウムを排出させるバルブ	

2) 表示部

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.5.2.12	文字板 dial		ムーブメントに取り付け、時に関する情報を示す目盛、マーク等を持つ部品	
3.5.2.13	蓄光 photoluminescence	蓄光塗料	光のエネルギーを貯え、針、目盛などを光らせる素材。	

項目 番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.5.2.14	目盛りリング indicator ring	固定目盛リング 回転目盛リング	目盛を持つリング状の表示部品	ISO6426-2 JIS B 7010

3）バンド部

項目 番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.5.2.15	美錠 buckle		バンド部外端に取り付け，つく棒によってもう一方のバンド部と連結され，バンド全体の長さを調整する機能をもつ部品。	JIS B 7010
3.5.2.16	中留 clasp		１２時側バンドと６時側バンドを連結する部品。バンドの長さを調整する機能をもつものもある。	JIS B 7010

3.5.3　２００２年改正の要点

技術部会国際規格ＷＧ、通商部会消費者関連ＷＧの共同作業により、現行規約の全面的見直しを行い、改正した。
主な改正点は以下のとおりである。

１．用語の追加

現行９６用語に、新たに下記の４４用語を追加し、計１４０用語を規定した。
なお、これに基づき、国際規格ＩＳＯ６４２６－2(時計用語－商業技術定義)に規定されていなかった４１用語を追加規定するよう提案し、採択された。

3.1 一般用語：４用語
計時装置、タイムカウンター、うるう秒、標準電波

3.2 時計の種類に関する用語：１６用語
提時計、置時計、掛時計、目覚時計、トラベラークロック、鳩時計、からくり時計、
ホールクロック、電波修正時計、視覚障害者用時計、対局時計、耐ニッケルアレルギーウオッチ、
耐メタルアレルギーウオッチ、トゥールビヨンウオッチ、カルーセルウオッチ、
自動巻クロノグラフ

3.3 性能に関する用語：３用語
作動温度範囲、使用温度範囲、潜水用防水

3.4 機能に関する用語：１３用語
時差修正、タキメーター、ログデータ、リバースカレンダー、電子音アラーム、ベル音アラーム、
合成音アラーム、リピーター、グランドストライク、スイープ運針、ステップ運針、自動巻発電、
過充電防止

3.5 要素･部品に関する用語：８用語
機能石、二次電池、キャパシター、シースルー、ねじロックボタン、蓄光、美錠、中留

２．用語表様式の改正

①対応英語：英語に関しても用語統一を図るため、対応英語を追加した。

②同義語、派生語、略語：用語のバリエーションを一々規定すると規約が煩雑になるので、同義語、派生語、略語欄を設け、規約を使い易くした。
③○○時計、○○ウオッチ、○○クロック、○○機能のように、用語を細区分して用いることがあり、これらを一々規定すると規約が煩雑になるので、備考に一括して規定した。
④引用規格：用語及びその定義の出典を明確にするため、引用規格欄を設けた。

２００５年改正の要点

技術標準化委員会、消費者委員会の共同作業により、現行規約の全面的見直しを行い、改正した。主な改正点は以下のとおりである。

＊電波修正関係用語の追加

1)新たに電波修正関係用語８用語を 3.4.1 項に追加規定した。
なお、3.4.1 時刻は時刻･電波修正とした。
2)3.1.18 標準電波は、3.4.1.13 に移動した。

２００８年改正の要点

①3.2.13 太陽電池時計
同義語の「ソーラーウオッチ／クロック」を削除。
＊「ソーラー」は登録商標であるとの指摘があり、これを含む語の使用には法的な判断を要するため、削除することとした。
なお、対応英語の"solar-powered watch／clock"、"solar cell time keeping instrument"については、商標権の範囲外の一般名称であるとの見解があり、そのまま残した。
②3.2.17 小秒針時計
同義語に、「サブセコンド時計」、「副秒針時計」を追加。
［クロックでは、小秒針時計より、上記の語の方を現状使用している］
③3.4機能に関する用語の3.4.6 その他への用語の追加
充電装置をもつ時計に関する用語の「3.4.6.16 充電切れ予告機能」､「3.4.6.17 パワーセーブ機能」を新たに追加規定した。］

２０１０年改正の要点

2010 年度見直しによる主な改正点は以下の通りである。
１）用語の定義変更
①3.4.6.17 パワーセーブ機能
定義において、充電装置を持つ時計を前提としているが、一次電池で動作する時計の節電機能としてもあるので、"一定時間経過すると時刻表示等一部の動作を自動的に停止し節電状態になる機能、節電状態が解除されると現在に時刻等を表示し元の動作に復帰する"に修正した。
②3.5.2.12 目盛りリング
目盛リングを見返しリング(dial trim ring)に置き換え、目盛りリング、ダイヤルリングを同義語とした。見返しリングの定義を目盛りや華飾要素を持つリングとし、目盛りリングは見返しリングの一部とした。
２）用語の追加
①3.4.1 時刻・電波修正
3.4.1.16 サマータイム ON/OFF 選択機能　及び 3.4.1.17 マルチバンドを追加した。
②3.4.6 その他
3.4.6.11 ライト　及び 3.4.6.12 充電時間　を追加した。
３）同義語の追加

①3.3.1.8　論理緩急に、英語表示の logical regulation を追加。
②3.3.1.10　作動温度範囲に、動作温度範囲を追加（一般的使用があるため)。
③3.4.3.3　フルオートカレンダーに、パーペチュアルカレンダー、パーペチャルカレンダーを追加。
④3.4.3.6　リバースカレンダーに、レトログラードカレンダーを追加。
⑤3.4.6.6　充電量表示に､バッテリーインジケーター､バッテリー残量インジケーターを追加。
⑥3.5.2.6　ねじロックりゅうずに、ねじロック式りゅうずを追加。

また、3.4.5.1 報時の同義語に時報を追加する意見があったが、“報時”は時を知らせる働きをするときに使用し、“時報”は時を知らせる動作（音）そのものを表す時に用いる等、使い分けしている実績があることから、同義語とはしないことにした。

4）その他

①3.2.19 盲人時計

同義語の視覚障害者用時計を近年のひらがなで表記する配慮を反映し、視覚障がい者用時計に変更した。

２０１３年改正の要点

主な改正点は以下の通りである。

1）用語及び同義語の追加

項目番号	用語	同義語
3.2.4	腕時計	
3.2.30	衛星電波修正時計	衛星電波時計
3.4.1.14	衛星電波	GPS 電波　GPS 衛星電波
3.4.1.19	針位置自動補正機能	針自動補正機能　針位置自動修正機能
3.5.2.9	リング	ダイヤルリング　見返しリング
3.5.2.10	エスケープバルブ	

2）同義語の追加

項目番号	用語	同義語
3.1.4	ウオッチ	［腕時計&提時計（懐中時計）］
3.2.16	多針時計	マルチハンズ
3.2.17	多機能時計	マルチファンクション
3.4.1.7	強制受信	強制時刻修正
3.4.1.12	受信ＯＮ／ＯＦＦ機能	機内モード
3.4.1.18	マルチバンド	多局受信
3.4.4.2	ワンショットアラーム	クイックアラーム
3.4.6.3	システムリセット	オールリセット
3.4.6.11	サウンドモニター	アラームモニター
3.5.2.8	ねじロックボタン	ねじロックプッシュボタン

3）その他

① P2 2項 引用規格、P7 .3.3.2.3項/3.3.2.4項　ISO 2281の修正
ISO 2281は、2010年8月に改訂されISO 22810となっていることから置き換えた。

② 用語の定義を、JIS B 7010（2012年度改正予定版）に一致させた。
対象用語：回転ベゼル、りゅうず、ボタン、耐磁板、文字板、美錠　等

③ 3.2.20 対局時計は、「対局」が会員企業の商標であるため削除した。

④ 3.2.27 自動巻クロノグラフは、3.2.26 クロノグラフに包括されるため削除した。

⑤ 3.4.2.1 タイムプリセレクティング装置の定義を“回転ベゼル･数値表示装置など”と修正し、ISO 6426-2と一致させた。

⑥ 3.4.6.6 充電量表示をパワーリザーブインジケーターに置き換え、定義欄で充電装置をもつクオーツ式時計の充電量の目安を表示する機能と機械式時計のぜんまい巻き上げ残量を表示する機能を区分し規定した。

⑦ 3.5.2.14 見返しリングをJISB7010（2012年度改正予定版）に合わせ目盛リングに置き換えた。
これにより、ケース部の用語にリングを追加し、同義語としてダイヤルリング、見返しリングを規定した。

⑧ 3.5.2 外装の項目を、1)ケース部、2)表示部、3)バンド部に分類し判り易くした。

⑨ 3.2.30 衛星電波修正時計の対応英語として、satellite radio controlled watch/clock、同義語として、satellite-synchronized（satellite-sync）watch/clockとしたが、英語圏の関係者の意見では、satellite-synchronized watch /clockを対応英語とし、satellite radio controlled watch / clockを同義語とする方がよい。」との意見であったが、既に、電波修正時計の対応英語として、radio controlled watch/clock　が日本国内で広く浸透していることから、今回の規定とした。
関連する新しい商品が市場に投入された時点で再検討することを視野に入れておく。

用語索引（五十音順）

同義語、[派生語･略語] 索引（五十音順）

用語・対応英語　同義語［派生語・略語］索引　（ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ順）

[A]

[B]

[C]

[D]

[E]

[F]

[G]

[H]

[I]

[J]

[T]

[U]

[W]